

化石工房

## 化石体験 二本立定着

### 連休から始めた「化石体験クリーニング」が好評

「石」をけずると実物の化石があらわれ、標本として持って帰ることができる、化石工房の新メニュー「化石体験クリーニング」。連休以来来館者に大好評です。

幼児でもできるように硬さを工夫した「石」。用意したかっちゃきツールとつつきツールで削ること15分（標準）、にぶい暗褐色のアンモナイトやキラッとかがやくサメの歯が現れると歓声があがります。取り出して標本のようにする、「石」の台座を残して置物風に仕上げるなど、楽しみ方もさまざまです。

ツールの改良や化石の種類を増やすなど、足寄動物化石博物館の体験内容として定着にできるように工夫します。



子どもたちは  
ふだんにはない  
集中力を発揮



準備した480個  
が無くなりそう  
な勢いでした

足寄動物化石博物館 フォストリーあしよろ

No. 81

2007年5月23日発行

089-3727 北海道足寄町郊南1丁目 電話 0156-25-9100 ファックス25-9101

Eメール [staff@museum.ashoro.hokkaido.jp](mailto:staff@museum.ashoro.hokkaido.jp)

ホームページ <http://www.museum.ashoro.hokkaido.jp> (博物館だよりpdf版あり)

# シャチの骨格を「発掘」

骨格標本作製のため土に埋めていたシャチの骨格を掘りだしました。05年2月、羅臼町相泊で流氷にとじ込められて集団死したシャチの1頭です。

シャチはマイルカ類の中では最大で、水族館いやホエールウォッチングでも人気者です。骨格になっても、いかにも肉食を思わせるりっぱな歯を持つなど、迫力があります。

足寄動物化石群には、マイルカ類の化石は見つかっていませんが、現在ではもっとも繁栄し種類の多いグループです。足寄のクジラ化石を研究するためにも重要な種類です。

掘りだした骨格は、汚れをとるなど調整し、夏ごろには展示室で見てください。計画です。

今回の発掘は、2007あしよろ化石教室の第1回「シャチを掘ろう」として実施しました。



掘りだしたシャチの骨格全景



化石教室に参加した小学生が掘りだす背骨



発掘をおこなった化石教室の参加者

## 探鳥会

### 大雪にめげず 渡り鳥を観察

前日に降り積もった雪を踏みしめて、下足寄湖に迫りました。北帰行をひかえたたくさんのハクチョウや到着したばかりのアオサギなど大型の鳥を観察することができました。

中洲に立つアオサギを見る参加者（4月15日）



## 休館日 || 6月 5日 12日 19日 26日の火曜日

博物館の動き 6月（館の行事や職員の動き、来館団体、など）

6月	2日	化石研究会学術大会 「ヒゲクジラの出現」講演(澤村) 埼玉県秩父郡 県立自然の博物館	24日	2007あしよろ化石教室 第2回「3000万年前の貝化石」 (訪問地を変更しました)
	8日	中札内高校のみなさん	26日	上士幌小学校のみなさん
	12日	幕別町糠内高齢者大学のみなさん	28日	標茶町虹別小学校のみなさん
	13日	根室市寿大学のみなさん	30日	鶴居村小学校（合同）のみなさん
	16日	帯広市児童会館行事のみなさん		東京農業大学（網走）博物館課程の みなさん
	23日	ネイバルあしよろ探検隊 化石編のみなさん		